

放課後等デイサービス支援員の実践力向上研修（基礎基本編）

～ 療育活動づくり～



右のQRコードから
左のページの表示を
お願いします。

なないろ R5.5.10



サンクスシェア
相談支援専門員 田中 聡



【10分でスキルアップ】資料作成簡単フレームワーク～通る資料3つのポイント

通る資料

3ステップ



資料作成簡単フレームワーク

全画面表示を終了 (f)

0:10 / 10:02

スクロールして詳細を表示



【活動企画書をつくろう！】

【活動企画書を作る際の手順】

- 1 目的を明確にする
 - 2 活動の内容を決める
 - 3 活動の展開方法を考える
 - 4 活動計画を立てる
 - 5 支援の具体的留意点を考える
 - 6 下見及びスタッフ予備体験をする
 - 7 活動計画を練り直す
- ※ 上司に企画提案する（戦略的提案）

活動を企画するポイント

- ① **目的** : どんな成長（思考・感情・行動）を目指すか？
- ② **内容** :
 - ・ 子どもの興味関心をそそるか？
 - ・ 実現可能か？
 - ・ 実行時のリスク管理が想定範囲内か？
- ③ **方法** :
 - ・ 実施可能な方法か？（必要な支援者人数の確保）
 - ・ 保護者への説明が十分できる方法か？
 - ・ 実施の評価を事前に準備できる方法か？
- ④ **評価** :
 - ・ できたか、できなかったか、の判定が可能か？
（行事の目的を達成できたか評価できるか？）

目的・内容・方法

活動の目的(ねらい)はなに？



(1) ガイドラインの趣旨

(2) 放課後等デイサービスの基本的役割

○ 子どもの最善の利益の保障

「生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与すること」（児童福祉法）学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じた発達支援→最善の利益の保障と健全な育成

○ 共生社会の実現に向けた後方支援

インクルージョン 集団の中での育ちの保障 一般的な子育て支援策を、専門的な知識・経験に基づく後方支援 地域の障がい児支援の専門機関としてふさわしい事業展開

○ 保護者支援

①子育ての悩み等に対する相談を行うこと ②家庭内での養育等についてペアレント・トレーニング等活用しながら子どもの育ちを支える力をつけられるよう支援すること ③保護者の時間を保障するために、ケアを一時的に代行する支援を行うこと

(3) 放課後等デイサービスの提供に当たっての基本的姿勢と基本活動

① 基本的姿勢

発達過程や特性、適応行動の状況を理解した上で、コミュニケーション面で特に配慮が必要な課題等も理解し、一人ひとりの状態に即した個別支援計画に沿って発達支援を行う。

「他者との信頼関係の形成の体験」「人と関わることへの関心」「コミュニケーションをとることの楽しさ」「葛藤を調整する力」「主張する力」「折り合いをつける力」基本活動には、自己選択や自己決定を促し、それを支援するプロセスを組み込むこと。「保護者・関係機関との連携」

② 基本活動

ア 自立支援と日常生活の充実のための活動

基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動「遊びを通じた成功体験」「自己肯定感を育む」

イ 創作活動

表現する喜びを体験できる。日頃から自然に触れる機会を設け、季節の変化に興味をもつ。「豊かな感性」

ウ 地域交流の機会の提供

子どもの社会経験の幅を広げていく。放課後等に行われている多様学習・体験・交流活動等との連携、ボランティアの受け入れ等により積極的に地域との交流を図っていく。

エ 余暇の提供

子どもが望む遊びや自分自身をリラックスさせる練習等の諸活動を自己選択して取り組む経験を積んでいくために、多彩な活動プログラムを用意し、ゆったりとした雰囲気の中で行えるよう工夫する。

(4) 事業所が適切な放課後等デイサービスを提供するために必要な組織運営管理

① 適切な支援の提供と支援の質の向上

- 運営方針、計画、タイムスケジュール、活動プログラムについて、PDCAサイクルにより不断に支援の質の向上を図る。
- 支援に関わる人材の知識・技術を高める研修の機会確保 + 習得意欲喚起
- 保護者、学校をはじめ、さまざまな関係機関との連携、情報共有→放課後等デイサービスに期待される役割の認識

② 説明責任の履行と透明性の高い事業運営

- 保護者の満足感、安心感を高めるため支援の内容を保護者とともに考える。丁寧な説明。寄り添うための積極的なコミュニケーション。
- 事業所が、地域社会からの信頼を得るため、事業に関する情報発信を積極的に行い地域に開かれた事業運営を心がける。

③ 様々なリスクへの備えと法令遵守

- 健康状態の急変、非常災害、犯罪、感染症に対する訓練やマニュアルの策定
- 虐待の未然防止や個人情報の保護、関係法規の遵守。「子どもの権利擁護」

なにをねらって療育活動をする？

児童発達支援ガイドライン（厚生労働省）

健康・生活	健康状態の把握 健康の増進 リハビリテーションの実施 基本的な生活スキルの獲得 構造化等により生活環境を整える
運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 身体の移動能力の向上 保有する感覚の活用 感覚の補助及び代行手段の活用 感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応
認知・行動	感覚や認知の活用 知覚から行動への認知過程の発達 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 数量、大小、色等の習得 認知の偏りへの対応 行動障害への予防及び対応
言語・コミュニケーション	言語の形成と活用 受容言語と表出言語の支援 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 指さし、身振り、サイン等の活用 読み書き能力の向上のための支援 コミュニケーション機器の活用 手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用
人間関係・社会性	アタッチメント（愛着行動）の形成 模倣行動の支援 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 一人遊びから共同遊びへの支援 自己の理解とコントロールのための支援 集団への参加への支援

活動を系統化する

事業所として

ねらい

時期

4月

3月

～ [] のテーマ・年間行事～

4月～6月 7月～9月

～出会い 自分を知る～ ～友達を知る～

- ・個別相談会
- ・講演会
- ・工場見学
- ・ながしそうめん
- ・保護者様と一緒にBBQ

10月～12月 1月～3月

～関係を築く～ ～新しい出会いに向けて！～

- ・ハロウィン
- ・社会見学
- ・クリスマス会
- ・もちつき大会
- ・講演会
- ・保護者会
- ・個別相談会

～週間行事～

施設名	月曜日	火曜日	水曜日
-----	-----	-----	-----

2020年 3月 活動予定表

日	活動内容	持ち物	算入/脳弁当	支援目的	S-M
1日					
2月	感覚統合 指先エクササイズ		●	指先の運動	74
3火	買い物活動 駄菓子屋ひかり		○	買い物遊び	40
4水	感覚統合 ひかり/すてっぶ:目隠しチャレンジ ねくすと:リミック		●	—	
5木	SST じゃんけんゲーム		●	いろいろな遊び方	63
6金	工作 作って遊ぼう			道具の貸し借りができる	47
7土	SST 運動 ポールでレクリエーション ハドル・スポーツクラブ		○	ルールを守って遊ぶ	31
8日					
9月	SST クイズに挑戦		●	意見を伝えることができる	63
10火	SST ゲームdeおやつ		○	順番を守る	31
11水	感覚統合 ひかり:リミック / ねくすと:体操 すてっぶ:体力測定		●	—	
12木	工作 お部屋を飾ろう		●	道具を正しく使える	41
13金	感覚統合 サイレントゲーム			静かにできる・注視する	20
14土	感覚統合 運動 リズムゲーム ハドル・スポーツクラブ		○	合図に合わせて遊ぶ	61
15日					
16月	工作 4月のカレンダーを作ろう		●	はさみの使い方	48
17火	買い物活動 駄菓子屋ひかり		○	買い物遊び	40
18水	感覚統合 ひかり:体操 / ねくすと:リミック すてっぶ:アイロンビーズ		●	—	
19木	SST チームで遊ぶ		●	協力して楽しむ	78
20金					
21土	感覚統合 運動 音楽遊び ハドル・スポーツクラブ		○	集団遊び	83
22日					
23月	感覚統合 バランスゲーム		●	からだの使い方	41
24火	工作 花飾りを作ろう		○	いろいろなどを考える	39
25水	訓練 避難訓練		● ○	静かに話が聞ける	37
26木	外出活動 体育館で遊ぼう	体育館シューズ	● ○	順番を守る	30
27金	買い物活動 ドーナツを買いに行こう	お財布	×	買い物の計画を立てる	94
28土	外出活動 ひかり:おつかいミッション ねくすと:地域交流会		○	—	
29日					
30月	クッキング おやつクッキング	クッキングセット	● ○	簡単な調理ができる	101
31火	イベント お楽しみ会		○ ○	約束を守って楽しむ	71

クッキングセット エプロン・三角布・マスク・ハンドタオル	お財布 お財布にお金を入れてくる	ハドル・スポーツクラブ 運動しやすい服装・タオル ・多めのお茶(水)
---------------------------------	---------------------	--

※ 弁当: ○ 注文または持参
× クッキングのため不要
※ 都合により予定変更する場合があります。
・算数教室及び脳機能バランスの申込はHUG上の備考欄にてお願いします。



活動を系統化する

事業所として

2020年		年間行事		
	四半期目標	創作活動	心理面談裏プロ・イベント	誕生日
4月	自己課題 自己を見つける。自身の ことと向き合う。	●お守りづくり	○心理劇 役を演じるということに なれる	[]
5月		●スクイーズづくり ～握って安心、フワフワス クイーズ～		
6月		●立体アートづくり ～自分の世界を箱に表現～		
7月	自己:集団 集団の中に存在する意 識しながら、自身の役 割的意識を芽生えさせ る。	●夏祭り創作	◆ 夏祭り	
8月				
9月		●創作物語りレー ～物語をつなぐ～		
10月	集団に対する意志 的な行動の芽生え 集団の中に対する自己 ポジションの確立	●陶芸器づくり	◆ハロウィンイベント	
11月		●草木染め体験		
12月		●身だしなみミラーづくり ～お気に入りの鏡で身だしなみ を整える～	◆クリスマスイベント ～1年の集大成をみせる～	
1月	自己の統合 「〇〇が出来た」「△ △は出来なかった」な どの両面的な感情の受 容。自己の成長を振り 返る。	●初筆書き体験 ～私・僕の1年はどうする?～		
2月		●革細工キーホルダー ～誰に贈る?～	◆節分イベント	
3月		●香り袋づくり ～かいで落ち着く～	◆ 卒業式	

2020年		年間行事		
	四半期目標	創作活動	作業学習・イベント	誕生日
4月	<慣れる時期> ・生活リズムを整える ・不安を軽減	□ソルトペインティング (江口) (情緒の安定)	□サーキット □体幹トレーニング	[]
5月		□ボトルドーム(山田) (不安癒す)	□サーキット □体幹トレーニング	
6月		□クレイアートクッキーマ グネット(江口) (創造性・巧緻性)	□サーキット □体幹トレーニング	
7月	<体づくり> ・粗大運動で自己の 体の意識作りと、コ ントロールを回る		□サーキット □体幹トレーニング ■音楽療法(リトミック)	
8月			□サーキット □体幹トレーニング ■ボールペン 袋詰め 封筒作り(作業学 習)	
9月		□叶①創作活動への挿絵書 き(江口) ストレス軽減、発信	□サーキット □体幹トレーニング (■音楽療法(リトミック))	
10月	<整える時期> ・実習等が始まり リズムが乱れる予 想、安定できるグッ ズや行事等を通して 変わらない安心を得 る	□空き缶ペイント(松尾) (感覚課題・育成によるリ ズム作り)	□サーキット □体幹トレーニング	
11月		□アドベントカレンダー作 り(安田) (見通しの安 心)	□サーキット □体幹トレーニング	
12月		□門松作り(江口) (1年の締めくくりの意 識を持つことでリズムを作 る)	□サーキット □体幹トレーニング	
1月	<来年度へ向けての 意識作り> ・心構え ・自己成長の振りか えり		□サーキット □体幹トレーニング ■ボールペン 袋詰め 封筒作り (作業学習)	
2月		□つるしびな(安田) (季節の意識)	□サーキット □体幹トレーニング ■節分イベント「豆まき」(山 田)	
3月		□アルバム作り(坂口) (自分の成長を確認する)	□サーキット □体幹トレーニング □お別れ会 3月29日	

目的・内容・方法

目的をつくることができる

- 何を育てるかの説明ができる
- 目的の重要性を説明できる
- 目的の時期性を説明できる

目的・**内容**・方法

活動の内容はなに？



(1) ガイドラインの趣旨

(2) 放課後等デイサービスの基本的役割

○ 子どもの最善の利益の保障

「生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与すること」（児童福祉法）学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じた発達支援→最善の利益の保障と健全な育成

○ 共生社会の実現に向けた後方支援

インクルージョン 集団の中での育ちの保障 一般的な子育て支援策を、専門的な知識・経験に基づく後方支援 地域の障がい児支援の専門機関としてふさわしい事業展開

○ 保護者支援

①子育ての悩み等に対する相談を行うこと ②家庭内での養育等についてペアレント・トレーニング等活用しながら子どもの育ちを支える力をつけられるよう支援すること ③保護者の時間を保障するために、ケアを一時的に代行する支援を行うこと

(3) 放課後等デイサービスの提供に当たっての基本的姿勢と基本活動

① 基本的姿勢

発達過程や特性、適応行動の状況を理解した上で、コミュニケーション面で特に配慮が必要な課題等も理解し、一人ひとりの状態に即した個別支援計画に沿って発達支援を行う。

「他者との信頼関係の形成の体験」「人と関わることへの関心」「コミュニケーションをとることの楽しさ」「葛藤を調整する力」「主張する力」「折り合いをつける力」基本活動には、自己選択や自己決定を促し、それを支援するプロセスを組み込むこと。「保護者・関係機関との連携」

② 基本活動

ア 自立支援と日常生活の充実のための活動

基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動「遊びを通じた成功体験」「自己肯定感を育む」

イ 創作活動

表現する喜びを体験できる。日頃から自然に触れる機会を設け、季節の変化に興味をもつ。「豊かな感性」

ウ 地域交流の機会の提供

子どもの社会経験の幅を広げていく。放課後等に行われている多様学習・体験・交流活動等との連携、ボランティアの受け入れ等により積極的に地域との交流を図っていく。

エ 余暇の提供

子どもが望む遊びや自分自身をリラックスさせる練習等の諸活動を自己選択して取り組む経験を積んでいくために、多彩な活動プログラムを用意し、ゆったりとした雰囲気の中で行えるよう工夫する。

(4) 事業所が適切な放課後等デイサービスを提供するために必要な組織運営管理

① 適切な支援の提供と支援の質の向上

- 運営方針、計画、タイムスケジュール、活動プログラムについて、PDCAサイクルにより不断に支援の質の向上を図る。
- 支援に関わる人材の知識・技術を高める研修の機会確保 + 習得意欲喚起
- 保護者、学校をはじめ、さまざまな関係機関との連携、情報共有→放課後等デイサービスに期待される役割の認識

② 説明責任の履行と透明性の高い事業運営

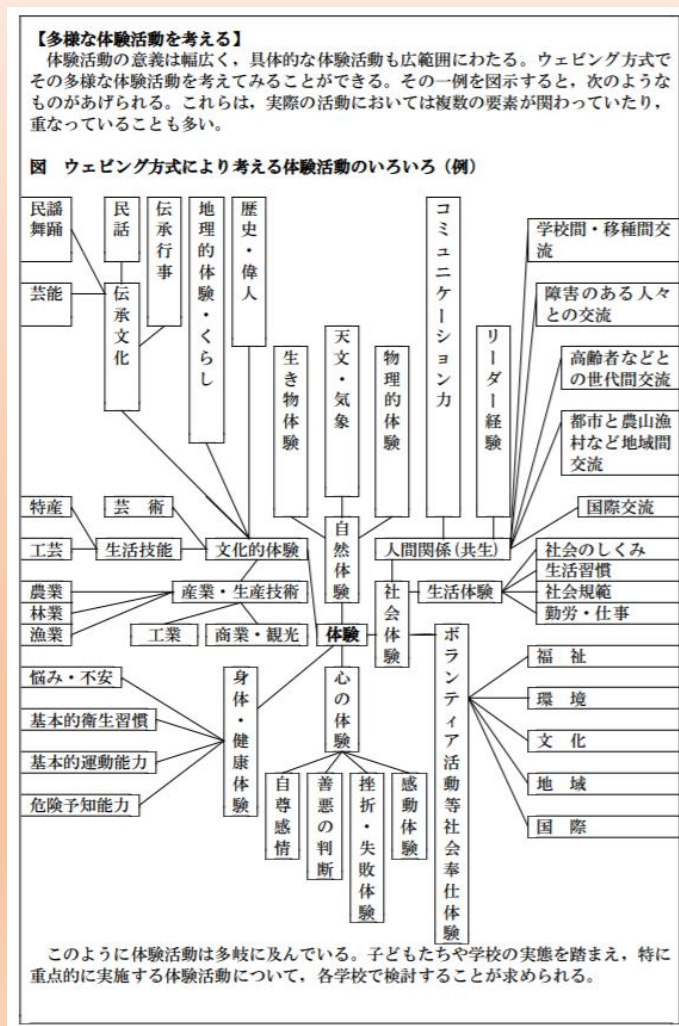
- 保護者の満足感、安心感を高めるため支援の内容を保護者とともに考える。丁寧な説明。寄り添うための積極的なコミュニケーション。
- 事業所が、地域社会からの信頼を得るため、事業に関する情報発信を積極的に行い地域に開かれた事業運営を心がける。

③ 様々なリスクへの備えと法令遵守

- 健康状態の急変、非常災害、犯罪、感染症に対する訓練やマニュアルの策定
- 虐待の未然防止や個人情報の保護、関係法規の遵守。「子どもの権利擁護」

【活動企画書をつくらう！】

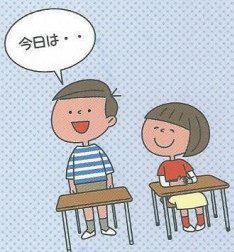
【 2 体験活動の内容を決める】



- ① ボランティア活動など
社会奉仕に関わる体験活動
- ② 自然に関わる体験活動
- ③ 勤労生産に関わる体験活動
- ④ 職場や就業に関わる体験活動
- ⑤ 文化や芸術に関わる体験活動
- ⑥ 交流に関わる体験活動
- ⑦ その他の体験活動

障害のある子を支える 放課後等デイサービス 実践事例集

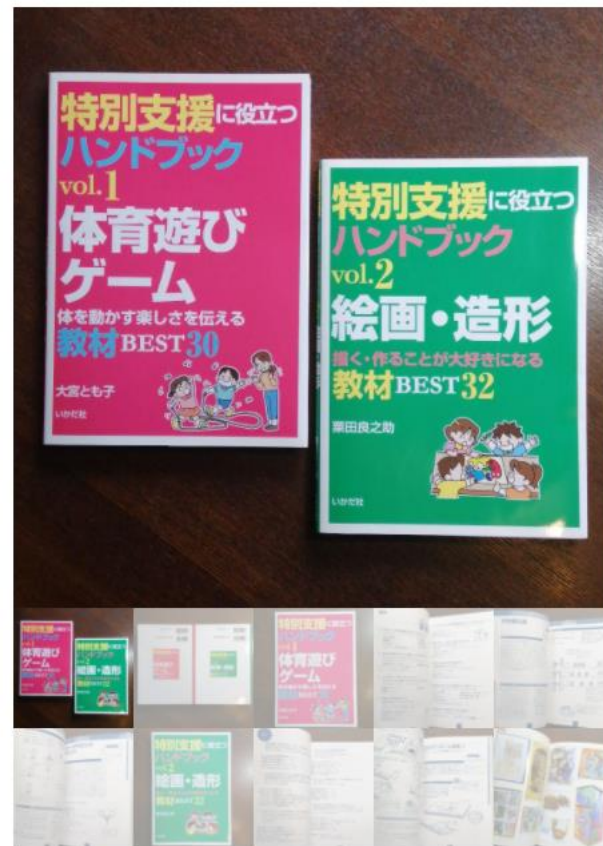
一般社団法人全国児童発達支援協議会 ● 編集



中央法規

【2冊セット】特別支援に役立つハンドブック vol.1 & vol.2

『【2冊セット】特別支援に役立つハンドブック vol.1 & vol.2』は、224回の取引実績を持つ赤ちゃんさんから出品されました。人文/社会/本・音楽・ゲームの商品で、未定から1~2日で発送されます。



出品者	赤ちゃん 👤 223 🗳️ 1
カテゴリ	本・音楽・ゲーム > 本 > 人文/社会
ブランド	
商品の状態	目立った傷や汚れなし
配送料の負担	送料込み(出品者負担)
配送の方法	らくらくメルカリ便
配送元地域	未定
発送日の目安	1~2日で発送



特別支援学校教育要領・学習指導要領解説

自立活動編

(幼稚部・小学部・中学部)

平成 30 年 3 月

 文部科学省

3

学級担任のアイデア・ヒント集

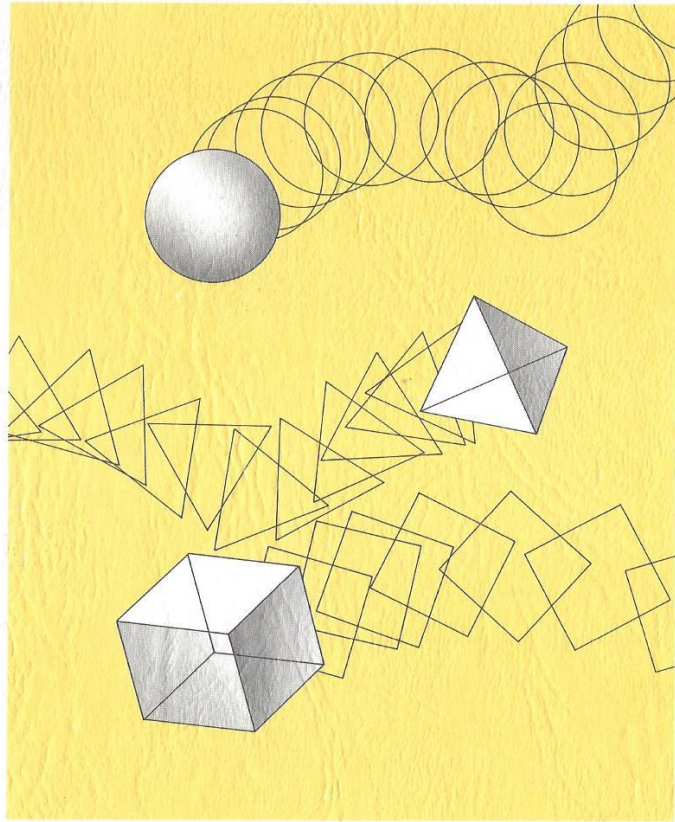
子どもの豊かな活動・体験を活かす 生活科のアイデア・ヒント

中嶋公喜/編著



明治図書

遊びの指導の手引



平成 5 年
文 部 省

日常生活の指導の手引

(改訂版)



平成 6 年
文 部 省

目的・内容・方法

内容をつくることができる

- 目的に見合っているか説明できる
- 成功した際の子どもの姿を説明できる

目的・内容・方法

どのように展開すれば？



【活動企画書をつくらう！】

【 4 活動計画を立てる】

活動と指導をコラボする絶好の機会！

事前

- ・ 活動当日を迎えるまでの準備（制作や下調べなど）
- ・ できるようになっておいてほしいことのトレーニング
- ・ 場所の確保や準備物の借用、購入予算などの事前準備

事中

- ・ 当日の活動の主な流れ
- ・ 役割分担
- ・ 準備するもの

事後

- ・ 活動後の振り返りをする場の設定
- ・ 活動の成果を発表する場の設定
- ・ 次の活動につながる、発展する方向性をさぐる

【活動企画書をつくらう！】

【 5 支援の具体的留意点を考える】

Pont 1 起こり得ることを想定しておき、

ことが起きたとき、即座に対応する

Pont 2 子どもたちの自主的な行いを妨げない

Pont 3 準備してきたこと、練習してきたことが

成功するようお膳立てをしておく

Pont 4 スタッフの役割分担を明確にしておく

【活動企画書をつくろう！】

【 6 下見及びスタッフ予備体験（シュミレーション）をする】

- 留意点 1 利用場所の関係者に面会し、
目的・内容・方法について説明し理解を得る
- 留意点 2 利用場所のきまり・ルールを確認する
- 留意点 3 危険箇所、安全配慮必要箇所のチェックをする
- 留意点 3 トイレ、食事、緊急時のポイントの確認
- 留意点 4 何を体験させて何を体験させないかを定める
- 留意点 5 移動手段や見学・体験にかかる時間・費用の把握

【活動企画書をつくらう！】

【 7 活動計画を練り直す】

- ・ 事前下見や事前体験で得られた情報を加味して
計画を見直す

【 ※ 上司に企画提案する】

- ◎ 目的を明確にして説明する
- ◎ 安全面、緊急時の対策に注力することを説明する
- 小出しに情報を発信し、了承を得る根回しをしておく
- どの段階でアプローチするのか戦略的に

【活動企画書をつくらう！】

活動企画書づくりのポイント

- なぜ、その企画（=療育活動）をするのですか？
 - 目的の明確化
 - ・子どもたちの実態
 - ・目指す姿
- どんな活動を計画するのですか？
 - 活動のもつ意味
 - ・体験的活動
 - ・ソーシャルスキルトレーニング
- 活動をどのように展開するのですか？
 - 子どもたちの動機付け
 - ・内発的動機付け
 - ・外発的動機付け
 - ・社会的動機付け
- どのように計画・準備するのですか？
 - 実施までの段取り等
 - ・企画の承認（いつまで？）
 - ・借用や購入予算、制作等の計画
 - 過去の資料の参考
 - ・活動後の資料整理の工夫と徹底
- どのように支援するのですか？
 - 一人ひとりの子どものアセスメントと個別支援計画から
- 6 シミュレーションをやってみましょう！

活動計画書

【活動名】

【ねらい】

【準備物】借用・購入、予算等

【活動の展開】

	活動及び指導の内容・時間配分等	支援の留意点
事前		
事中		
事後		

【活動企画書をつくらう！】

構成的グループ・エンカウンター 活動例（計画案）

資料編②

(1) 療育活動名 フルーツバスケット

(2) ねらい

- ① 遊びのルールを理解し、集団遊びであるフルーツバスケットを楽しむことができる
- ② 「おに」へのインタビューを通して、他児の話に注目することができる

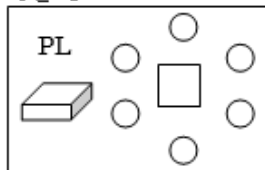
(3) 準備（もの・場）

梨・林檎・柿各1個 + 一口サイズ爪楊枝付き（人数分）

果物首かけ絵カード（3種類×5枚くらい）

果物場絵カード（3種類+フルーツ盛合×5枚くらい）

椅子（人数分） 爪楊枝ごみ入れ



+

(4) 活動の流れ

時間	活動	活動上の留意点	支援上の留意点
	1 場所を自由に選び、椅子に座って待つ		
	2 秋の果物を見て遊びへの興味をもつ	・果物を見せながら、声かけする 「今日はこれを使って遊びます。遊びたい人！」	・指示への注目ができるように声掛けする ・説明に注目するように声掛けする ※場合によってはモデリングに参加させる
	3 チーム決めをする	・一人ひとり順番に「好きな」果物を選ばせ、絵カードを首にかける	
	4 ルール説明を聞く	・モデリングをしながら説明する 【ルール】 ① PLから引いたカードを見せながら果物の名前を言う ② 移動する際、雑巾を一旦踏む ③ 座ることができたらカードにシールを貼ってもらう ④ 「おに」はPL、もしくは他児から質問やインタビューを受ける ・一度練習をしてみる	・ルールの理解が難しい子に、スタッフが直接支援する ※この際、教えるのではなく考えさせることを原則とし、不十分な部分

5 ゲームをする

- ・「おに」がカードを引く＆言う→すわる→シール→「おに」インタビュー→「おに」がカードを…のサイクルについて、子どもたちの楽しみ具合、ルールの理解具合をみながら繰り返す
※飽きているようだったら「なんでもバスケット」（〇〇の人！）へバージョンアップする

- ・のみフォローする
・話に注目しているかを観察し、直接指導する
※場合によってはインタビューにさせる

6 ゲームを振り返る

- ・獲得したシールを数え、勝敗を確認する
- ・多い子から順番に、インタビューして感想を得ながら果物を食べる
【感想インタビュー】
Q：楽しかったか？
Q：どうして楽しかったのか？
・まとめとして、「おに」になった他児が話していたインタビュー内容をクイズ形式で出題し、よくできていた子を賞賛する

- ・数確認が難しそうなお子には直接支援する（間違いのないように）
- ・まとめとして「ルールを守ると楽しい」を感じ取らせたい

【活動企画書をつくらう！】

体験活動の「それダメ×」「それマル○」

「それダメ×」 活動のみのやりっぱなし！

「それマル○」

【箱入り娘お嬢型】

失敗体験をしないよう、
体験が成功するよう
事前のお膳立てを徹底する

【野生児リベンジ型】

まずはどっぷり体験したあと、
リベンジの機会を設定し、
最後には体験が成功するよう
しっかり導いていく

【活動企画書をつくろう！】

「本格工作にチャレンジしよう」

【室内体験型】

事前

- 100円均一の工作セットで貯金箱を作る
- 途中であきらめずに最後まで作り上げる
- 自分が作った作品を大切に扱う

事中

- 前年度の優秀作品と賞について説明を聞く
- どんなものをどんな材料で作るか計画を立てる
- 必要な材料を買い物に行く
- マイ貯金箱を制作する

事後

- みんなが作った作品の鑑賞会をする
(相互投票して事業所内表彰をする)
(互いのいいところをほめ合おう)

【活動企画書をつくろう！】

「火起こししてカレーを作ろう」

【野外体験型】

事前

- ・ 火の起こし方を練習する
- ・ 危険認識を学習する
- ・ 一定時間、しっかり説明を聞く練習をする

事中

- ・ カレーの作り方を調べる
- ・ 必要な材料を買い物に行く
- ・ 火起こし体験を経験する
- ・ みんなと協力してカレーを作る

事後

- ・ 指導してくれたおじさんにお礼の手紙を書く
- ・ おうちの人と一緒にカレー作りをする

【活動企画書をつくらう！】

「鳥獣センターへ行こう」

【目的地見学型】

事前

- ・ 集合の仕方を練習する
- ・ 公共の施設におけるマナーを学習する
- ・ 小グループで行動するためのルールをつくる

事中

- ・ 鳥獣センターにいる動物探しオリエンテーリング
- ・ 好きな乗り物を選んで乗る

事後

- ・ 撮影してきた写真をスライドで振り返る
- ・ 好きな動物の絵を描く
- ・ 事業所壁面飾りとして掲示

【活動企画書をつくろう！】

「地域の祭りに参加しよう」

【地域交流型】

事前

- ・ 町の資料館を見学し、地域の歴史を学習する
- ・ 一定時間、しっかり説明を聞く練習をする
- ・ 地域の祭りの神輿担ぎの様子をVTRで視聴する

事中

- ・ 町の歴史や地域の祭りについて、話を聞く
- ・ プレ神輿担ぎに参加する
- ・ 祭りの衣装を着て神輿担ぎ本番に参加する

事後

- ・ 家族と一緒に町の夜祭に参加する
- ・ （以後継続的に）地域の清掃活動にボランティア参加する

【活動企画書をつくろう！】

年間の構想・月ごとの構想・週ごとの構想

年間

【春】 『自己紹介をしよう』

「自分を知ろう」

【夏】 『夏祭りをしよう』

「友だちを知ろう」

【秋】 『秋を食べよう』

「友だちと協力しよう」

【冬】 『ボランティア訪問しよう』

「成長を振り返ろう」

月

今月のテーマ：「ともだちのいいところ探し」

・ みつけたらカードに書いて壁に掲示しよう

週

今週の目標：「おもちゃの片付けがんばり週間」

・ おもちゃ片付け名人の帰りの会発表

目的・内容・方法

どのように実施するかをつくることができる

- 事前一事中一事後の活動をつくることができる
- 子どものモチベーションが大切にされた活動をつくることができる
- 活動時間に見合った活動を作ることができる
- 目的を意識した具体的な活動の工夫や配慮を説明できる